

◎こども図書館講座開催

第1回こども図書館講座が6月1日に行われました。今回は「図書館の仕事体験初級編」として、館内見学のほか、カウンターでの貸し出し返却、本の清掃作業などを体験しました。参加した小学生の皆さんはこども図書館員として仕事に励んでいました。



児童書

『ミリー・モリー・マンデーのおはなし』

ジョイス・L・ブリスリー／作
 上條 由美子／訳
 福音館書店／刊



元気な女の子ミリー・モリー・マンデーは、両親たち大人6人と一緒に暮らしています。ある日、家族におつかいを頼まれた彼女は忘れないようにくり返し唱えながらお店へ向かいますが、途中でいろいろな人に話し掛けられて…。さて、無事におつかいはできるのでしょうか。ほかにも家族が彼女のために秘密で部屋をつくる話や友達のスーザンやビリーらとキャンプや店番をする話など、わくわくするお話がたくさん収められています。家族を大切に思う気持ちがよく現れた12の物語。(小学校低～中学年向き)

◎図書館のご案内

第4回 予約について



図書館で貸し出し中の本やCD・DVDを、次に借りるために予約することができます。予約をすると、貸し出し可能になり次第ご連絡をします。連絡後2週間以内にご来館いただき貸し出します。

予約は直接来館しお申し込みいただくほか、インターネット上からも可能です。ただしインターネット予約をご希望の方は事前登録が必要です。あらかじめカウンターでパスワードを発行します。その後、町ウェブサイト・文化の館のページからご登録ください。登録をされるとメールでの連絡もできるようになります。ぜひご利用ください。

一般書

『遊鬼 わが師 わが友』

白洲 正子／著
 新潮社／刊



おすすめの
 本

白洲正子は明治43年に伯爵・樺山家の次女として生まれました。幼い頃から能楽に親しみ、後には女性として初めて能楽堂の舞台に立つほどでした。欧米への留学の経験もあり、日本文化と欧米文化の両方を理解した稀有な女性でした。

本書は正子のさまざまな分野の師匠である人々や友たちへ向けて書かれた随筆集です。青山二郎・小林秀雄・鹿島清兵衛・梅原龍三郎など、正子の広い交友関係が垣間見えます。「韋駄天」の異名を持ち大正・昭和を駆け抜けた白洲正子のエッセイをどうぞ。